

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP3, C-STEP2

G-STEP3, P-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・情報と情報との関係付けの仕方を理解する。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・複数の情報から共通点や相違点を見い出す。
- ・複数の情報をもとに、自分の考えを表現する。

単元における学習の展開（全6時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○新聞について学習したことを振り返り、学習の見直しをもつ。
第2次 (4時間)	○2つの記事をもとに、書き手の意図に合う写真と見出しを決める。 ○2つの記事の共通点と相違点を整理し、書き手の意図との関連性を考える。(☆) ・子ども新聞を使い記事や写真から見出しを考える。(本時) ・元の見出しと自分の考えた見出しを比べ工夫をまとめる。
第3次 (1時間)	○学習を振り返る

本時のねらい

- ・見出しを考えるために、記事や写真の関係を読み取り、書き手の意図を捉える力を育む。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 書き手の伝えたい内容によって写真や見出しに違いがあったことを確認する。	・見出しには書き手の伝えたいことが反映されていることを確認させる。
展開 (30分)	2. 記事や写真に合う見出しを考える。 ・グループごとに内容の異なる子ども新聞の記事を読み、写真と関連付けて見出しを考える。 ・考えた見出しをグループで交流し、考えた根拠を示しながら共通点や相違点を整理する。 ・グループで話し合っ出て出した見出しを発表する。	・記事の要旨や書き手の伝えたいことに気をつけて考えるように声かける。 ・見出しを考える新聞は学校図書館にも掲示されている、子ども新聞を使用する。子ども新聞は児童にもわかりやすい内容や文章が多いので、その内容から見出しを考えさせる。 ・グループで交流する際には、それぞれの考えた見出しの共通点や相違点に注目させる。
まとめ (10分)	3. 学習内容をまとめる。	・書き手の伝えたいことが見出しにつながっていることを確認する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・記事の中からよく出てくる言葉や、強調した表現になっている部分にまず線を引かせることで、見出しを考えやすくなった。
- ・前時で記事に合う見出しを選ぶという活動を入れたことで、見出しと記者の伝えたいことにつながり考えやすくなった。
- ・見出しを考える上で、事前に記事の内容や、記事の長さを精選したことで、記事に興味をもって取り組むことができた。
- ・考えた見出しを交流することで、記事の着目ポイントが同じでも、考えた見出しが違うことがわかり、よりよい見出しを考えることができた。



子ども新聞の記事につけた見出しを、班で交流した。